


 伯備線を走るお召列車
(昭和46年4月21日筆者撮影)

2年程前のことでした。ある日、突然、巫女さん出身の歌手に一目ぼれ。そこから追っかけを始めました。ファンクラブにも入りました。大御所の歌手と異なり売り出し中なので、成長過程が見られて実に楽しい。演歌歌手ということもあり、追っかけをしている方のほとんどは60歳以上。皆さんパソコンやスマホを駆使して情報を入手しているようです。

この追っかけを例に、私とネット社会との関わりについて考えてみました。

- ①HP、ツイッター、ブログなどでコンサートやキャンペーン情報を入手。
- ②ツイッター、ブログへの「いいね」や「コメント」の書き込み、You Tubeで動画を楽しむ。
- ③コンサートのチケットは、ネットで申し込んで、コンビニで受け取る。
- ④交通機関の切符については、JR東日本「大人の休日倶楽部」に加入して格安の乗車券を手配し、航空券もネットで手配。決済にはクレジットカードを使って、航空券はe-チケットのQRコードを印刷する。ホテルについても、予約サイトで場所や宿泊料金を確認して、ネット予約。
- ⑤テレビ・ラジオの活用については、出演の確認と視聴、ビデオの録画予約の他、番組宛にリクエスト曲や感想メールを送る。ラジオの場合は、聴き逃した番組でも、パソコンやスマホで「radikoプレミアム」を使って全国の放送局の番組が聴ける。
- ⑥インターネットサイン会や生配信ライブの視聴の際は、チャットで参加。CD購入や視聴料は、バーチャル口座を使った銀行振込みやクレジットカードで決済。

今は新型コロナウイルスの影響で追っかけの機会が激減し、ネットでの応援が中心。早く以前のように旅行を楽しみながら、追っかけができるようになってほしいものです。

私は来月70歳を迎えます。パソコンとスマホを併用していますが、どちらもたくさんの機能が付いています。50～60歳代のうちにパソコンやスマホが使いこなせるようになっていれば、80歳代になってもネット社会に対応できるような気がします。今の時代は、HPよりも手軽に情報発信や交流が楽しめるブログ、SNS、You Tube、LINEなどがあります。そこでは新たな出会いも期待できます。皆さんも積極的に活用されることをお勧めします。

昨年からコロナ禍で今までの普通の生活が普通ではなくなり、社会的距離を保ってコロナと共存していく「新しい生活様式」が求められています。また、緊急地震速報や豪雨予報をはじめとする災害

情報の入手、政府が推進しているキャッシュレス化やマイナンバーカードを利用した様々な行政手続きなど、今後ますますネットの利用が重要になると思われます。

最後に一言。ネットの利用がここまで普及し、さらにキャッシュレス時代が進展すると、何をするにもアカウントの取得やID、パスワードが必要になります。自分が使うためにメモするだけでなく、エンディングノートにも記載するなどしてしっかり管理をすることも極めて重要と思います。

もし、ご興味がありましたら、私の名前4文字で検索し「思い出の蒸気機関車」から入って覗いてみてください。

ネットを活用して追っかけ

一般財団法人地域社会ライフプラン協会

定岡 克実

SMART
TIMES